

令和7年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 赤崎 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和7年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問調査

※ 本校の5年生は単学級ですので、個人が特定されることがないよう、公表の方法について配慮しています。

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市の実技調査の結果

<男子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
本市	16.16	19.89	34.46	41.16	50.80	9.47	152.45	22.02	54.09

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97
本市	15.73	18.70	38.63	39.23	39.35	9.75	144.11	13.51	54.98

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問調査結果の概要

質問調査の結果分析
<p>成果としては、「運動が好き」という項目の肯定的な回答が、男女とも95%を超えていることが挙げられる。また、「中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたい」という項目の肯定的な回答も、男女とも90%を超えていることが挙げられる。</p> <p>課題としては、「体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、(できたり・わかったり)することがある」の項目で、男女とも30%を下回っており、全国に比べかなり低いことが挙げられる。</p>

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

<p>「運動が好き」ということに対する取組として、全ての児童が運動を楽しめるように、体育の学習の中で、運動が苦手な児童を意識した簡単な活動から始めたり、出来具合に応じて活動の段階を分けたりしている。また、「中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたい」ということに対しては、「体育の学習が楽しい」ということが影響していると考えため、今後も「体育の学習が好き」「運動が好き」と児童が思えるように、全児童を意識した学習に取り組んでいく。</p> <p>「体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、(できたり・わかったり)することがある」ことに対する取組として、マット運動や跳び箱の学習のときなどに動画撮影を行い、自分の動きを確認することで、よりよいフォームに改善できたり、自分のできていない部分に気付いたりすることができるため、積極的にタブレットを活用していきたい。</p>
--

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

<p>「運動が好き」という項目に対しては、朝の会の時間などの短時間で、児童が楽しめるような運動(動き)を取り入れたり、休み時間に児童と一緒に教師も運動場で遊んだりすることで、児童の「運動が好き」という気持ちを維持していく。</p> <p>家庭での取組として、休みの日に子どもと外で遊んだり、自宅でラジオ体操をしたりするなどを啓発し、家庭でも児童と一緒に運動に取り組んでいけるように働きかけていく。</p>
--